

プログラム名 (40字以内)	熱帯林の保全と修復の現場で語り合う		
団体名/所属	農学生命科学研究科附属アジア生物資源環境研究センター		
活動区分	国際交流体験活動 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	1人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	ひと・もの・こととの新たな出会いと暑さやめかるんだ足元での散策や作業を楽しめること。英語で一定程度コミュニケーションを取れること。		
活動期間	2026/7/28(火)~8/5(水) ※事前準備日3回あり	主な活動予定場所	インドネシア共和国東カリマンタン州
プログラム実施の目的	熱帯林の重要性に対する理解を現地での見学、実習と講義を通じて深め、熱帯林の保全と修復について現地の学生とともに考え、さまざまな気づきを得る。		
具体的な内容(800字程度)	<p>ボルネオ島に広がる熱帯雨林は、地域スケールにおいても地球スケールにおいても非常に重要な機能を担っており、また生物多様性の観点からも極めて重要な生態系であるが、その劣化、減少がいまだに続いている。ボルネオ島の東側に位置するインドネシア共和国東カリマンタン州にあるムラワルマン大学と連携して、現地での見学、実習、講義で構成する1週間のプログラムを実施する。残存する熱帯雨林や石炭採掘現場を見学し、劣化した二次林での植栽体験をしながら、ムラワルマン大学の教員と本学の教員による熱帯林の保全と修復に関わる講義をムラワルマン大学の学生とともに受講し、熱帯林の保全と修復をこの先どのように進めるのがよいかについて考える。現地での使用言語は英語である。ジャカルタの空港での集合、解散を予定している。</p> <p>プログラム内容(暫定案): 事前打ち合わせ(3回、詳細日程は調整後に確定) 初回(6月中旬):顔合わせとガイダンス・事前調査テーマの決定、第2回(7月上旬):調査結果の発表、第3回(7月17日):直前打ち合わせ 7/28(火) 日本発 7/29(水) ジャカルタ空港集合、空路でバリクパバンへ、マングローブ林見学[プキットバンキライ公園の宿泊施設にて宿泊] 7/30(木) プキットバンキライ公園において残存林の見学と講義、新首都移転事業の見学、[プキットバンキライ公園の宿泊施設にて宿泊] 7/31(金) プキットスハルト演習林の苗畑と植栽試験地を見学、講義、植栽体験、夕方、サマリダに車で移動[サマリダのホテル泊] 8/1(土) 石炭採掘現場の見学[サマリダのホテル泊] 8/2(日) フリープラン(タヤク族文化見学)[サマリダのホテル泊] 8/3(月) 発表、閉講式[サマリダのホテル泊] 8/4(火) 車でバリクパバンに移動、空路でジャカルタ空港へ、空港にて解散 8/5(水) 帰国</p>		
【総額】参加するための費用	210,000円程度を予定しているが、航空運賃の高騰によりそれよりも高くなる可能性がある。		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	40,000円程度(参加者2名でシェアすれば半額)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	150,000円程度(航空運賃150,000円程度。現地移動経費については、別途補助を得るため無料)		
【内訳】参加するための費用(その他)	15,000円程度(食費ほか)、10,000円程度(C9ピザ)		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	<p>・昨年度のプログラム実施の様子や参加者の感想をFBページで見られます: https://www.facebook.com/profile.php?id=61575426886292</p> <p>・初回の事前説明会でも案内しますが、渡航前に、本学の環境安全本部が発行している「野外活動における安全衛生管理・事故防止指針 第5版」に目を通しておください。 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/reference/yagai.html</p> <p>・感染症対策 感染症の予防接種については、以下のウェブ情報も参考にして、各自の判断で接種するかどうかを決めてください。主な宿泊先となるサマリダは東カリマンタンの州都で都市圏です。見学先には森林域が含まれます。植栽体験の際に土に触れる機会があります。接種は、トラベルクリニックのほか東大の保健センターでも可能です。具体的な接種内容については、クリニック等で相談してください。</p> <p>>海外の感染症に関する厚生労働省のサイトのインドネシアのページ FORTH 国・地域別情報 アジア地域 インドネシア https://www.forth.go.jp/destinations/country/indonesia.html</p> <p>>ワクチン接種/東京大学 保健センター https://www.hc.u-tokyo.ac.jp/guide/internal-medicine/vaccination/</p> <p>※本プログラムは、全体としては10名程度の学生の参加を想定しており、そのうち5名を体験活動プログラムの枠として募集する</p> <p>※体験活動プログラムによる支援金のほかに別途東大-SMBC 森林GXプロジェクトによる渡航支援金の支給あり</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		